

知事杯 県剣道選手権大会

男子は林田匡平選手、 女子は大西ななみ選手が制覇！



第111号
発行人
(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一
事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiikendo@herb.ocn.ne.jp



福井県知事杯 第18回福井県剣道選手権大会

令和三年六月二十七日(日)
於 福井県立武道館



県剣連は六月二十七日(日)、福井県立武道館で「福井県知事杯 第18回福井県剣道選手権大会」を開催しました。男子は林田匡平選手(学剣連)が三年ぶり3回目の優勝、女子は大西ななみ選手(学剣連)が二年ぶり3回目の優勝を果たしました。県内の各地区連盟と各団体から選出された男子21人、女子20人がトーナメントで知事杯を競いました。林田選手は十一月三日(水・祝)東京都の日本武道館で開催される「第69回全日本剣道選手権大会」、大西選手は九月十九日(日)奈良県のジェイテクトアリーナ奈良で開催される「第60回全日本女子剣道選手権大会」の県代表選手として、それぞれ選考されました。試合結果は以下の通り。

【男子の部】

- 優勝 林田 匡平 (学剣連)
※選手権出場は二年連続4回目
- 2位 辻内 勇介 (福井地区)
3位 楠原 北斗 (福井地区)
3位 梅田 圭仁 (学剣連)

【女子の部】

- 優勝 大西 ななみ (学剣連)
※選手権出場は四年連続7回目
- 2位 梅原 陽乃 (越前地区)
3位 木村 真理子 (敦賀地区)
3位 菅谷 歩未 (敦賀地区)

福井県剣道選手権大会を 観戦して

審判長 教士八段 堀江 範雄
今回もコロナ過の中、昨年同様
“無観客”での開催で、歓声のない
寂しい大会となった。

開会式前に審判員及び選手全員で
「新型コロナウイルス感染症が収束
するまでの暫定的な試合、審判法」
の講習会を实地、意思の統一を図り、
それぞれの立場で試合に臨んだ。

出場選手の不参加も若干あったが、
各地区剣道連盟・団体から男子21名、
女子20名の精鋭が出場、女子は九月
十九日(奈良県)、男子は十一月三日
(日本武道館)で開催される全日
本選手権大会の出場権を獲得すべく
鏑を削った。試合内容は、昨年度よ
り鏑迫り合いからの反則行為も少な
く、前に思いつ切り打突する剣道が
中心となり、気迫、躍動感あふれる
試合が展開され、無観客が大変残念
に思った次第である。

【女子の部】

前年度の覇者で、前年度全日本女
子剣道選手権大会ベスト8の大西な
なみ(学剣連)を誰が打ち負かすか
が注目された。1回戦から白熱した
試合が続ぎ、ベスト4には大西なな
み(学剣連)、木村真理子(敦賀地

区)、菅谷歩未(敦賀地区)、梅原陽
乃(越前地区)が勝ち上がり、大西
以外の3選手は全員現役の敦賀高校
剣道部員で、正に「師弟対決」、誰
が先生を倒すかが更に注目を集めた。

決勝戦は、準決勝で木村をメンで下
した大西と、同じく菅谷をコテで下
した梅原の対戦となった。大西は前
半から軽快な動きでメンを先取、そ
の後も果敢に攻め入りメンを連取、
2本勝ちで勝利した。梅原も善戦し
たがあと一歩及ばず、結果的には大
西の貫録勝ちで、実力差を見せつけ
られた。とは言っても高校生の梅原
は第2位で大健闘、将来が楽しみな
選手である。

【男子の部】

女子同様、前年度覇者で前年度全
日本剣道選手権大会第3位入賞の実
力者林田匡平(学剣連)を負かすも
のが現れるかと注目された。

ベスト4には林田匡平(学剣連)、
楠原北斗(福井地区)、梅田圭仁
(学剣連)、辻内勇介(福井地区)が
勝ち上がり、林田の連覇を阻むもの
がいるのか、注目された。決勝戦は、
準決勝で福井工大ナンバー1の楠原
をメンで下した林田と、同じく準決
勝で梅田を相メンで制した上段構え
で刑務官の辻内との対戦となった。
試合は辻内が上段からメンを打ち込

むが決められず、林田が鮮やかにコ
テを決めて連覇を飾った。

【総括】

女子については、高校生が気迫溢
れる試合を展開し頑張った。今後も
更に大西先生の指導の下、一層努力
して稽古に励み、実力をつけて師を
負かせて欲しいものである。

男子については、今回も職業上の
制約で警察官の出場が無く、大変残
念であった。次回は出場して大会を
盛り上げて欲しいものである。

全日本剣道選手権大会・同女子剣
道選手権大会に出場する林田匡平選
手、大西ななみ選手については、勝
手とは承知しているが「アベック優
勝を！」と県剣連上げて応援し期待
もしている。またその実力は十分備
えているので、ぜひ頑張っていただ
きたい。健闘を祈ります。

今回優勝出来なかった選手は「捲
土重来」、次回は自分が優勝するん
だという強い気持ちで、今後の稽古
に精進していただきたいものです。
最後にこのコロナ過の中で大会開
催が危ぶまれる中、開催にご尽力い
ただいた各地区連盟、審判員、係員
及び選手のご協力に対し、心より感
謝申し上げます。またコロナウイル
ス感染者を出さずに大会が無事終了
できましたこと、重ねて御礼申し上

げます。本等にありがとうございま
した。
来年度こそ、本大会が盛大に開催
されることを願うばかりです。

全国大会の県勢の活躍

第13回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

令和三年七月十日(土)
於 ジェイテクトアリーナ奈良(橿原市)
「第13回 全日本都道府県対抗女
子剣道優勝大会」が7月10日(土)、
奈良県橿原市のジェイテクトアリー
ナ奈良で開催され、福井県チームは
2回戦で岡山県チームと対戦、4対
1で敗退しました。優勝は熊本県チ
ームで、岡山県チームは準優勝。



◎2回戦

岡山県 4-1 福井県

勝ち

○植山 メー 梅原 陽乃

○水川 メドー 堤腰 琴菜

五十嵐 一メ反 大西ななみ○

○小津野ココー 橋本 一美

○稲津 メメー 高嶋 寿美

観戦記

女子監督 山田 聖子

全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会が二年振りに奈良県のジェイテクトアリーナ奈良で開催されました。

今回は暫定的なルールの元での試合という事で、前日の審判、監督会議には選手も同席が認められました。

その内容を再確認した上で、ミーティングを行いました。

初戦の相手は前回優勝の岡山県。対戦して感じた事は、穴がなく攻めが強い印象を受けました。全体の試合を見ても、いかに自分のペースに持って来れるかどうか、その為にも攻め勝つ事の重要さと、暫定的なルールに伴って、鏝迫り合いに入るまでの近間での技の練習が大切だと感じました。

来年の同大会から7人制になるかもしれないという事なので、福井県の女性剣道人口を増やし、女性が剣道を続け、稽古しやすい環境作りを

していく事も福井県の競技力向上に必要なのではないかと思います。

第68回全国高等学校剣道大会

令和三年八月九日(月祝)〜十二日(木)

於 いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)

八月九日(月・祝) から十二日(木)、石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催された「第68回全国高等学校剣道大会(北信越インターハイ)」の福井県勢結果は以下の通りです。

◆男子個人戦

植村 啓吾(敦賀高)

3回戦進出 ベスト32

徳橋 知輝(敦賀高)

4回戦進出 ベスト16

▽1回戦

植村 啓吾 メー 阿部 武 (山形・山形工高)

▽2回戦 植村 啓吾 メー 赤星 陽生 (岡山・玉島高)

徳橋 知輝 コー 杉本 烈輝 (兵庫・育英高)

▽同3回戦 末永 英大 反ー 植村 啓吾 (熊本・九州学院高)

徳橋 知輝 メー 西浦 尚希 (佐賀・龍谷高)

▽同4回戦

吉倉 百汰 メー 徳橋 知輝 (茨城・水戸葵陵高)

◆女子個人戦

木村真理子(敦賀高) 1回戦敗退

梅原 陽乃(敦賀高) 2回戦進出

▽1回戦

梅原 陽乃 メー 大塩和香那 (北海道・東海大札幌高)

松本 開花 ドー 木村真理子 (熊本・阿蘇中央高)

▽同2回戦

弓 彩乃 メメーメ 梅原 陽乃 (佐賀・三養基高)

◆女子団体予選リーグ

敦賀高 1-1 草津東高(滋賀県)

引き分け

菅谷 ー 望月

○青池 メー 椎葉

木村 ー 小堀

梅原 ー 前川

松本 ーコ 村山○

敦賀高 0-0 小山高(栃木県)

引き分け

菅谷 ー 毛塚

青池 ー 屋代

木村 メーメ 刀川

梅原 ー 高松

松本 ー 高木

※予選リーグ2分け、2位で決勝トナメントへ進出できず



◆男子団体予選リーグ

敦賀高 2-1 花巻北高(岩手県)

勝ち

植村 ーメ 佐々木○

崎元 ー 桐野

○森 ココー 菅崎

徳橋 ー 青木

○奥村メコー 阿部

八幡工高(滋賀県) 1-1 敦賀高

本数負け

花本 植村

宇野 崎元

吉川 森

岩城 徳橋○

○佐々木コメー 奥村

※予選リーグ1勝1敗、2位で決勝
トーナメントへ進出できず

インターハイに出場して

敦賀高校剣道部男子 徳橋 知輝

私はインターハイで活躍するとい
う夢が、高校入学を機に段々と目標
に変わっていく過程を、日々の練習
を通して感じていきました。初日の
個人戦では、一試合目から集中して
試合を運ぶ事ができましたが、4回
戦ではその集中が切れた一瞬を打た
れました。団体戦では、たった1本
が勝敗を分けるということを改めて
学ぶことができました。団体戦も個
人戦もあと1勝していれば二日目に
残る事ができました。この1勝が簡
単なようで難しいのだと感じました。
インターハイでの経験をこれからの
剣道人生に生かしていきたいと思
います。
またコロナ禍での大会開催に向け
て動いて下さった全ての方々に感謝

します。ありがとうございました。

観戦記

敦賀高校剣道部顧問 大西 ななみ

今大会は、男女ともに上位進出を
狙っていただけに悔しい結果となり
ました。二年ぶりの開催となったイ
ンターハイで、個人戦では植村が3
回戦敗退、徳橋がベスト16という好
スタートに始まりました。しかし団
体戦では、女子が2分前で、男子が
1勝1敗で予選リーグを突破するこ
とができませんでした。結果にはも
ちろん満足していませんが、一方
全国でも充分戦える力と自信はつい
てきたのではないかと思っています。
暫定的なルールに変わり、早一年
が経とうとしています。このルール
を味方に付けられるよう、これから
も研究し続けたいと思います。応援
ありがとうございます。これから
もご指導ご鞭撻の程よろしくお願
いします。

第51回全国中学校剣道大会

令和三年八月二十日(金)～
二十二日(日)

於 川崎市とどろきアリーナ(神奈川県)

「第51回全国中学校剣道大会」が

八月二十日(金)から二十二日(日)、

神奈川県川崎市の「川崎市とどろき

アリーナ」で開催され、福井県から
は男子団体が気比中学校、女子団体
で鯖江中学校が出場、個人戦では男
女それぞれ2人ずつ出場しました。
試合結果は以下の通りです。

【男子団体】

2回戦

気比中学校 0-3 都田中学校

(神奈川県)

勝ち

山川 田邊○

寺川 長谷川

前田 笠井○

小不動 伊藤○

東海 大橋



観戦記

気比中学校男子剣道部

顧問 上山 章

コロナ禍において二年ぶりの開催

となった全国中学校剣道大会。福井
県剣道連盟の先生方をはじめ、多く
の方々のご指導、ご支援のおかげで
本大会に出場できることに感謝の思
いで臨みました。

気比中学校は、トーナメント2回
戦で地元神奈川県代表の横浜市立都
田中学校との対戦となりました。

先鋒山川は、チームの流れを掴む
べく、俊敏な動きで仕掛けてくる相
手に対して自分の剣道を意識して冷
静に戦いましたが、相手の一瞬の隙
を狙ってのコテに対してメンに乗ら
れ先取されました。次鋒寺川は、足
を使って積極的に技を繰り出し、メ
ンを引き出している返しドウ。打突の
機会も良かったものの旗は一本しか
上がりず、延長でも決着がつかず引
き分けとなりました。中堅前田は、
唯一の二年生。冷静に相手の動きを
誘い出し応じる剣道ができました。
延長戦となり、相手のメンに対する
ドウに旗が割れ、合議の結果相手の
メンとなり一本負けとなりました。
副将小不動は、強気の剣道で冷静に
試合に臨みました。打つべき機会を
捉え、多彩な技を繰り出し攻め続け、
惜しいメンも二本ありましたが延長
戦に入りました。最後は相メンを決
められ大将につなぐことができませ
んでした。大将東海は相手を冷静に
分析し、果敢に攻める姿がありまし

た。相手が得意とするコテを返してのメンや引き出してのメン返しドウ。技の選択やタイミングも絶妙でした。結果は引き分けとなりましたが、大舞台でも練習してきたことを発揮することができました。

結果、団体試合には負けましたが、これまでの稽古で培ってきた技を出し切り、存分に全国の舞台で試合を楽しむことができました。

全国大会入賞を目指してきた三年間。素振り・切り返し・打ち込み稽古を中心に取り組んできました。またコロナ禍の中、「暫定的な試合方法」の導入により一人一人が試合スタイルも変更を余儀なくされました。しかし、この環境の中で「全国の舞台で試合ができた喜び」を忘れることなく、新たな目標に向けて精進させていきたいと考えています。このような貴重な経験をさせていただき、感謝しております。ありがとうございました。

【女子団体】

2 回戦

鯖江中学校 0-3 潮田中学校 (神奈川県)

勝ち

山下 — メ 野稲(明)○
水野 — 服部

上坂 — メ 苅部○
伊藤 — ド 野稲(優)○
窪田 — 石井



観戦記

鯖江中学校剣道部顧問 澤田 泰治
八月二十日(金)に、神奈川県とどろきアリーナにて、「第51回全国中学校剣道大会」の女子団体の部が行われました。

鯖江中学校は、初戦の2回戦で地元神奈川県潮田中学校と対戦しました。先鋒の山下は、落ち着いた試合の入り方をしましたが、勝負に行つた得意のメンの出ばなにメンを乗らされて、惜しくも一本負けとなりました。次鋒の水野は、相手の素早い動きに惑わされることなく終始有利な試合運びをしましたが、惜しくも有効打突とはならず引き分けとなりました。中堅の上坂は、試合の序盤、

相手の鋭いメンに一瞬居ついてしまいいメンをとられました。しかし、その後は気迫の攻めを見せ、キャプテンとしての意地を見せてくれました。終盤に狙ったコテメンは、あわや一本かという抜群のタイミングでした。ここで負ければ試合が決まるという状況での副将戦では、伊藤が「必ず一本とるんだ」という強い気持ちで攻め続けましたが、延長に入り思い切って打ったメンに対して、相手が打つた返しドウに旗が二本上がり、一本負けとなりました。大将の窪田は、相手のコテに対して、思い切りメンにのりました。旗が上がってもおかしくない素晴らしい技でしたが、惜しくも旗は上がらず一本とはなりませんでした。その結果、0対3で敗退という結果になりました。しかし「中心をとり、攻め勝って打つ」という鯖江中学校が目指してきた剣道を全国の舞台で思い切り出し切ることができました。

2回戦敗退という結果に対する悔しさは残りますが、緊急事態宣言が発令されている中で、夢の舞台に立たせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今回ほど、家族や先生方、そして、仲間、大会の開催にご尽力いただいた主催者の方々の支えのありがたさを感じることができた大会はありません。

鯖江中学校の部訓である「雲上蒼天」のように、「厚い雲の上にも必ず蒼空が広がっている」と信じて、困難な状況にも負けずに一生懸命に積み重ねてきた経験をこれからの自分の成長に生かしていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

【男子個人】

1 回戦

大西諒太郎 — メコ 織田 慶次
(武生第六中) (長崎県愛野中)
深川 幸希 — メド 工藤 春太
(三方中) (京都府桂中)



【女子個人】

1 回戦

西山 実咲 — メ延 伊藤萌々子
(中央中) (山口県高川学園中)



2回戦

山田 優生 —メ 勝目 真優
(南越中) (神奈川県田名中)

大会・予選会・稽古会等

県高校春季総合体育大会

「剣道競技」

令和三年六月四日(金)～六日(日)

於 福井県立武道館

「県高校春季総合体育大会 剣道競技」が六月四日(金)～六日(日)、福井県立武道館で開催され、団体戦では敦賀高校剣道部が男女アベック優勝。個人戦も敦賀高校男女が3位まで独占した。

試合結果は以下の通り。

◆男子◆
【団体】



▽1回戦

福井工大福井2―2啓新

(代表勝ち)

北陸4―1武生商工

敦賀気比2―1武生

敦賀2―0藤島

美方4―0羽水

丸岡3―0高志

金津3―0鯖江

▽準々決勝

福井工大福井5―0福井高専

北陸3―1敦賀気比

敦賀3―0美方

丸岡3―0金津

▽準決勝

福井工大福井2―2北陸

(本数勝ち)

敦賀2―1丸岡
▽決勝

敦賀1―0福井工大福井

※敦賀は三大会連続20度目の優勝

【個人】



1位：徳橋 知輝(敦賀)

2位：植村 啓吾(敦賀)

|| 以上全国総体出場

3位：奥村 龍也(敦賀)

◆女子◆
【団体】



▽1回戦

美方4―1福井商

啓新2―1福井工大福井

丸岡2―0敦賀気比

▽準々決勝

金津2―0美方

敦賀5―0高志

啓新2―2北陸

(代表勝ち)

▽準決勝

丸岡5―0藤島

敦賀4―0金津

丸岡4―1啓新

▽決勝

敦賀3―0丸岡

※敦賀は五大会連10度目の優勝

【個人】



1位：梅原 陽乃(敦賀)

2位：木村 真理子(敦賀)

|| 以上全国総体出場

3位：松本 佳子(敦賀)

第34回福井県居合道大会兼 全日本居合道大会選考会

令和三年六月十三日(日)
於 越前市武道館剣道場

県剣連居合道部は六月十三日(日)、越前市武道館剣道場で「第34回福井県居合道大会兼全日本居合道大会選考会」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止になり、二年ぶりの開催です。開式にあたり越前市剣道連盟の藤岡文男会長から選手への激励挨拶をいただき、出場者はコロナ感染予防対策の中、演武に集中して試合が行われました。

団体戦は選手3人で1チームとし、福井地区から1チーム、越前地区から1チームがエントリーし、勝敗人数で結果を競いました。

個人戦五段の部では県内では珍しい3人同時に試合を行う「三人制」の形式での試合が行われ、3人の審判の旗が一本ずつ分かれ勝敗がつかず、補助審判員の判定まで結果がもつれ込む激戦となりました。

記：長谷川 翔平

【団体戦】

・優勝 居合道九頭龍会
(清家佑華、長谷川翔平、齋藤佳男)



【個人戦】

- ・段外の部
優秀演武賞 竹本 穂 (福井地区)
- ・参・四段の部
優勝 齋藤 聖也 (福井地区)
- ・五段の部
優勝 齋藤 佳男 (福井地区)
- ・六段の部
優勝 松本 敏夫 (越前地区)



第59回北信越高等学校剣道大会

令和三年六月十八日(金) ~ 二十日(日)
於 加賀市スポーツセンター(石川県)

「第59回北信越高等学校剣道大会」が六月十八日(金) ~ 二十日(日)、石川県加賀市の加賀市スポーツセンターで開催され、団体の部で敦賀高校男子チームと北陸高校男子チームが3位、敦賀高校女子チームがベスト8に入賞しました。また個人戦では男子の部で敦賀高校の奥村龍也選手が優勝、同校の徳橋知輝選手が準優勝、植村啓吾選手が3位と敦賀高校勢が上位を独占しました。

【男子団体戦】



《予選リーグ》

第1試合場 1位 北陸⇨決勝Tへ
第2試合場 2位 敦賀⇨決勝Tへ

第3試合場 4位 福井工大福井
第4試合場 4位 丸岡

《決勝トーナメント》

▽準々決勝

北陸 2-1 富山
敦賀 1-1 龍谷富山
(代表勝ち)

▽準決勝

新潟商 5-0 北陸
新潟明訓 0-0 敦賀
(代表勝ち)

【男子個人戦】



▽準々決勝

植村 啓吾 (敦賀) メー
奥村 龍也 (敦賀) コー
富田 (龍谷富山)

徳橋 知輝 (敦賀) コー
井上 賢史郎 (福井工大福井)

▽準決勝

奥村 ドー 植村

徳橋 コー 信濃 (富山竜谷)

▽決勝

奥村 コー 徳橋

【女子団体戦】



《予選リーグ》

第1試合場 1位 敦賀Ⅱ決勝Tへ

第2試合場 5位 金津

第3試合場 4位 啓新

第4試合場 5位 丸岡

《決勝トーナメント》

▽準々決勝

羽咋 0-0 敦賀

(代表勝ち)

【女子個人戦】 入賞者無し

【優秀選手】

男子 植村 啓吾 (敦賀)

女子 松本 佳子 (敦賀)

第59回県中学校夏季競技大会 剣道競技

令和三年七月十日(土)～十一日(日)

於 福井県立武道館

令和3年度「第59回福井県中学校夏季総合競技大会・21県民スポーツ祭 剣道競技 中学生の部」が七月十日(土)～十一日(日)、福井県立武道館で開催され、団体戦では男子が気比中学校、女子は鯖江中学校がそれぞれ初優勝しました。優勝校は八月二十日(金)～二十二日(日)神奈川県で開催される「第51回全国中学校剣道大会」に出場します。

【男子団体戦】

優勝 気比中学校 ※初優勝

2位 武生第六中学校

3位 森田中学校

3位 三方中学校



男子団体決勝は、昨年度の県秋季新人競技大会決勝と同じ気比中と武生六中との対戦となった。予選リーグをともに全勝で勝ち上がり、どちらのチームも準決勝を接戦で勝ち、決勝に駒を進めた。先鋒戦は、中盤気比中の山川選手が出コテとメンを決め、二本勝ちを収めた。次鋒戦は、先鋒戦の勢いそのまま、気比中の寺川選手が返しドウト出コテの二本勝ちとなった。中堅戦は、両者とも鏝競り合いから引かず公正を害する行為として反則を取られたが、武生六中の伊藤選手がコテを二本取り、流れを引き寄せた。副将戦は、序盤は膠着状態が続いたが、中盤以降打ち合いが続き、3分間で決着がつかず延長に入った。しかし延長の2分でも決定打がなく、引き分けとなった。大将戦は、後がなくなった武生六中の山下選手が序盤から果敢に攻める

が、決めきれなかった。後半、両者とも激しく打ち合うがお互い決まらず、そのまま引き分けとなった。結果、2対1で気比中の初優勝となった。

【女子団体戦】

優勝 鯖江中学校 ※初優勝

2位 武生第二中学校

3位 中央中学校

3位 明倫中学校



女子団体決勝も、昨年度の県秋季新人競技大会決勝と同じ、鯖江中と武生二中との対戦となった。予選リ

グとともに全勝で危なげなく勝ち上がった両チームも、準決勝は接戦で勝ち上がり、決勝に駒を進めた。先鋒戦は、鯖江中の山下選手がメンを二本決め、二本勝ちを収めた。次鋒戦は、鯖江中の水野選手が相手の手元を守ろうとしたところを見逃さずコテを決め、そのまま時間となり一本勝ちとなった。鯖江中の勢いは止まらず、中堅戦は、鯖江中の上坂選手がメンを二本決め、中堅までで勝負を決めた。副将戦は、互いに決め手がなく引き分けとなった。大將戦は、武生二中の岸本選手が相メンと出ばなメンを決め、最後に意地を見せた。結果は3対1で鯖江中の初優勝となった。

◎全学年
【男子個人戦】



- 優勝 大西 諒太郎(武生第六中)
- 2位 深川 幸希 (三方中)
- 3位 堀 登真 (鯖江中)

3位 山川 陽太朗 (気比中)

男子個人決勝リーグには、山川選手(気比中)、大西選手(武生六中)、深川選手(三方中)、堀選手(鯖江中)が勝ち上がった。大西選手は勢いのあるメンで有効打を決め、3連勝で優勝を果たした。深川選手は予選トーナメントを勝ち上がってきた流れそのままに、思い切った技を果敢に繰り出し2勝し、第2位となった。大西選手と深川選手が全中の切符を手にした。

◎2学年



- 優勝 福本 和真 (明倫中)
 - 2位 熊谷 佑汰 (金津中)
 - 3位 川岸 哉仁 (坂井中)
 - 3位 前田 恭吾 (気比中)
- ◎1学年
- 優勝 橋本 勝央 (丸岡中)
 - 2位 松口 直次郎(気比中)

- 3位 長山 侑生 (福井工大福井中)
- 3位 刀裨 龍斗 (成和中)

◎全学年
【女子個人戦】



- 優勝 山田 優生 (南越中)
- 2位 西山 実咲 (中央中)
- 3位 上坂 菜摘 (鯖江中)
- 3位 忠住 理子 (松岡中)

女子個人決勝リーグには、上坂選手(鯖江中)、山田選手(南越中)、西山選手(中央中)、忠住選手(松岡中)が勝ち上がった。山田選手は

多彩な技を果敢に出し、3連勝で優勝を勝ち取った。西山選手は得意のメンが随所で決まり、2勝して第2位となった。山田選手と西山選手が全中の切符を手にした。

◎2学年



- 優勝 平田 はな (松岡中)
- 2位 小矢 結貴 (小浜、二中)
- 3位 大澤 あかり(中央中)
- 3位 吉村 悠里 (坂井中)

◎1学年



- 優勝 小林 真夕 (栗野中)



- 【男子団体戦】
- 優 勝 丸岡高校A
 - 2 位 敦賀高校A
 - 3 位 福井工大福井高校A
 - 3 位 敦賀気比高校C
 - 最優秀賞 井上 賢史郎
(福井工大福井高)

令和三年七月十七日(土)
於 福井県立武道館
「21福井県民スポーツ祭 剣道競技 高校の部」が七月十七日(土)、福井県立武道館で開催され、男子は丸岡高校A、女子は北陸高校Aがそれぞれ優勝しました。

- 2 位 林 由佳 (清水中)
- 3 位 赤澤 知歌子 (武生二中)
- 3 位 中山 杏実 (明倫中)
- 記：服部 真也

「21福井県民スポーツ祭 剣道競技 市町対抗の部」が八月一日(日)、福井県立武道館で開催されました。

令和三年八月一日(日)
於 福井県立武道館



- 【女子団体戦】
- 優 勝 北陸高校A
 - 2 位 敦賀高校B
 - 3 位 敦賀高校A
 - 3 位 金津高校A
 - 最優秀賞 上道 夢奈
(敦賀気比高)

【熟年男子の部】

- 優 勝 敦賀市
- 準優勝 南越前町
- 3 位 福井市
- 3 位 若狭町

開会式に先立ち、三月十四日(日)に全日本剣道連盟の剣道有功賞を受

【壮年男子の部】

- 優 勝 福井市A
- 準優勝 越前市A
- 3 位 坂井市A
- 3 位 鯖江市A

【壮年女子の部】

- 優 勝 敦賀市
- 準優勝 坂井市

【成年女子の部】

- 優 勝 福井市B
- 準優勝 福井市C
- 3 位 敦賀市A
- 3 位 福井市A

【成年男子の部】

- 優 勝 福井市A
- 準優勝 坂井市A
- 3 位 福井市C
- 3 位 南越前町

試合結果は次の通りです。



【男子団体戦】

- ▽予選リーグB 3位 武生六中
- ▽予選リーグC 3位 森田中
- ▽予選リーグD 2位 気比中
- ⇨決勝Tへ
- ▽団体決勝トーナメント
1 回戦 宇ノ氣中(石川) 3-1 気比中

令和三年八月三日(火)
於 富山県西部体育センター
「令和三年度北信越中学校総合競技大会 剣道競技」が八月三日(火)、富山県西部体育センターで開催され、女子個人戦で西山実咲選手(中央中3年)が2位、山田優生選手(南越中3年)が3位に入賞しました。
試合結果は以下の通りです。

第42回北信越中学校総合競技大会 剣道競技



賞された、前越前市剣道連盟会長の山田昭榮先生への伝達表彰式が行われ、片山会長から賞状と記念品が授与されました。
記：坂本 裕一郎

【女子団体戦】

※ベスト8

▽予選リーグA 2位 中央中

|| 決勝Tへ

▽予選リーグB 4位 武生二中

▽予選リーグC 3位 鯖江中

▽団体決勝トーナメント

1 回戦 燕中 (新潟) 4-1 中央中

※ベスト8

【女子個人戦】

2 位 西山 実咲 (中央中)

3 位 山田 優生 (南越中)



コロナ禍の中での大会で、会場動線に制限があったり、保護者の入場が参加校1名であったりと、例年とは違った大会で、生徒も多少は戸惑いながらも熱戦を繰り広げました。

結果は女子個人で西山実咲選手(中央中3年)が2位、山田優生選

手(南越中3年)が3位入賞という素晴らしい成績を残すことができました。

団体戦では予選リーグで森田中学校男子、鯖江中学校女子が2位決定代表戦の未敗退し、決勝トーナメントに進出することができませんでした。しかし、気比中学校男子と中央中学校女子が予選2位で決勝トーナメントに進出しましたが、準々決勝で惜敗、ベスト8という結果でした。記：福井県中体連剣道競技専門部

今庄中学校 山本 澄人

第55回福井県少年剣道錬成大会

令和三年八月九日(月・祝)

於 福井県立武道館

七月四日(日)から延期された県剣連主催の「第55回福井県少年剣道錬成大会」が八月九日(月・祝)、福井県立武道館で開催され、男子団体戦では福井今立道場、女子団体戦では向笠剣道スポーツ少年団がそれぞれ優勝しました。

試合結果は下記の通りです。

【男子団体戦】15チーム出場

優勝 福井今立道場

2 位 福井養正館

3 位 越前少年剣道クラブ

3 位 新風館愛宕坂道場

【女子団体戦】9チーム出場

優勝 向笠剣道スポーツ少年団

2 位 武道学園剣道教室

3 位 新風館愛宕坂道場

3 位 剣誠館スポーツ少年団



【個人戦】5年生以上男女85名出場

優勝 元井 颯汰 (福井養正館)

2 位 山田 典悠 (福井今立道場)

3 位 山田 隼誠

(武生南剣道スポーツ少年団)

3 位 岸本 好誠 (福井養正館)



敢闘賞 和多田 流平 (武道学園剣道教室)

脇本 寛大 (新風館愛宕坂道場)

安達 丈留

(福井県立武道館)

山本 優心

(越前少年剣道クラブ)

第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 福井県選手選考会

令和三年八月二十一日(土)

於 福井県立武道館

県剣連は十二月十九日(日)、大阪市のおおきにアリーナ舞洲で開催

される「第16回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」に出場する福井県選手選考会を八月二十一日(土)県立武道館多目的競技場で開催し、次の選手が選ばれました。

- 元井 颯汰 (福井養正館)
- 山田 典悠 (福井今立道場)
- 岸本 好誠 (福井養正館)
- 山本 優心 (越前少年剣道クラブ)
- 山田 隼誠 (武生南剣道スポーツ少年団)

記：向井 俊博

※同大会は「中止」

新型コロナウイルスの感染拡大状況が深刻で、安心・安全な大会が困難と判断し、「中止」になりました。



第42回北信越国民体育大会

剣道競技

令和三年八月二十一日(土)～

二十二日(日)

於 中野市民体育館(長野県) 十月二日(土)～四日(月)開催され

る三重国体の出場権をかけて、「第42回北信越国民体育大会 剣道競技」が八月二十一日(土)～二十二日(日)、長野県中野市の中野市民体育館で行われました。福井県チームの結果は次の通りです。

▽成年女子リーグ戦

- 新潟県 2-0 福井県
- 長野県(代表勝ち) 0-0 福井県
- 石川県(代表勝ち) 0-0 福井県
- ※福井県チームは4位、1位は長野県
- 県々本国体出場、富山県は棄権

▽少年男子リーグ戦

- 富山県(代表勝ち) 2-2 福井県
- 福井県 2-0 長野県
- 新潟県 1-0 福井県
- 石川県 2-0 福井県
- ※福井県チームは4位、1位は石川県
- 県々本国体出場

▽少年女子リーグ戦

- 福井県(本数勝ち) 1-1 富山県
- 福井県 2-0 石川県
- 福井県 1-0 長野県
- 新潟県 2-1 福井県
- ※福井県チームは2位、1位は新潟県
- 県々本国体出場

観戦記

強化部長 柳原潤一郎

「第42回北信越国民体育大会」が八月二十二日(日)長野県中野市民体育館にて開催されました。

新型コロナウイルスの影響で二年ぶりの開催となった北信越国体は、「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法」を適用するとともに、試合方法に大きな変更がありました。5県によるリーグ戦により順位を決定しますが、成年5分、少年4分の試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする、勝者数・取得本数が同数の場合は1対戦ごとに代表者戦を行う、代表者戦の結果はチームの勝ち点に反映されるが順位決定ポイント(勝者数・取得本数)には入れない、代表者戦は少年男女の場合は任意の代表者で行うが成年女子はチーム内で最後に引き分けた者同士で行う、等が主な変更点でした。ポジションごとに勝敗が決するまで試合を行っていた従来とは異なり、引き分けを念頭に置いた試合運びが求められることになりました。

成年女子は富山県が棄権し、4チームの争いとなりました。本県としては、先鋒大西選手がポイントを奪って先行逃げ切りの形に持ち込みたいところですが、初戦の新潟戦では開始早々から果敢に攻め込み、立て続けに部位をとらえませんが旗は動かさず引き分けとなり、中堅、大将が取り返

そうと仕掛けますが、逆に奪われて手痛い1敗を喫します。その後の2試合は3選手すべてが引き分けて代表者戦となり、2試合とも大将高嶋選手が奮闘しますが、残念ながら敗れて4位という結果に終わりました。

少年男子の本県は、これまでの大会実績等から、新潟との優勝争いになると思われました。しかし、初戦の富山戦を2-2の代表者戦に持ち込まれた末に落として波に乗れず、長野戦で勝利したものの新潟、石川に敗れて4位となりました。優勝した石川県は4戦全勝でしたが、トータル勝者数は6、取得本数が8、2位の新潟県は2勝2敗で勝者数4、取得本数7で、1勝3敗の福井県の勝者数4、取得本数4と、それほど大きな差があったわけではありませ

ん。少年女子は、新潟、石川の実力が一つ上とみられ、両県にどこまで迫れるかに注目していました。初戦の富山戦に1-1で本数勝ちし、2戦目の石川戦では先鋒、副将がそれぞれ1本勝ちして2-0、3戦目の長野戦も1-0でともに勝って最終の新潟戦を迎えます。福井としては接戦に持ち込んで、僅差での勝ちを狙いましたが1-2で敗退。新潟県は序盤の長野戦で敗れていたため、ここは絶対に負けられないという意地

県剣連事業等

をみせました。本県は3勝1敗、トータル勝者数5、取得本数8でリーグ戦を終え、最終戦の石川VS新潟戦を見守ります。ともに2勝1敗同士の両県の戦いは2-1で新潟県が勝利して3勝1敗、トータル勝者数6、取得本数6で優勝、本県は勝者数で1及ばず残念ながら2位となりました。

冒頭でも述べましたが、新型コロナウイルスによる暫定的な試合・審判法の導入により、鏑迫り合いでの攻防の優劣ではなく、一足一刀からの攻防の優劣が一本を得る鍵となってきました。また、引き分けありのルールとなったことで、多少の実力差があっても接戦を凌ぎながらロススコアに持ち込み、取れるところで取り切る勝負強さが勝敗を分ける鍵となった大会でした。

※今秋の三重国体は「中止」

三重県で今秋開催予定の国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の中止が八月二十五日、決まった。三重を含む各地で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、県と文部科学省、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会が同日、オンラインで協議して判断した。

令和三年度通常理事会

五月二十一日(金)、代表理事である片山外一会長が理事および監事に対して、理事会の決議の目的である次の事項についての提案を行い、当該提案につき、理事全員から書面により同意の意思表示を得たこと、および監事全員の異議がなかったことから、定款第49条の規定に基づき、五月三十一日付けで当該決議事項を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされました。

【提案事項】

- 第一号議案 令和二年度事業報告の件
- 第二号議案 令和二年度決算報告の件
- 第三号議案 令和三年度役員一部改選(案)および業務分担(案)の件
- 第四号議案 剣道称号受審要項の施行日の変更(案)の件
- 第五号議案 令和三年度定時評議員会決議の省略(書面決議)を行う件

【報告事項】

一、令和三年度事業計画(五月十三

日現在)について

- 二、令和二年度強化報告および令和三年度強化計画について
- 三、令和三年度中央講習会について
- 四、令和三年度都道府県事務局長会議について
- 五、ホームページリニューアルの進捗状況について

記：坂本 裕一郎

令和三年度定時評議員会

六月八日(火)、代表理事である片山外一会長が評議員に対して、評議員会の決議の目的である次の事項についての提案を行い、当該提案につき、評議員全員から書面により同意の意思表示を得たことから、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき、六月十八日付けで当該決議事項を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされました。

【提案事項】

- 第一号議案 令和二年度事業報告の件
- 第二号議案 令和二年度決算報告の件
- 第三号議案 令和三年度役員一部改選(案)および業務分担(案)の件
- 第四号議案 剣道称号受審要項の施行日の変更(案)の件

本要項の施行日を令和五年四月一日に変更

【報告事項】

- 一、令和三年度事業計画(五月十三日現在)について
- 二、令和二年度強化報告および令和三年度強化計画について
- 三、令和三年度中央講習会について
- 四、令和三年度都道府県事務局長会議について
- 五、ホームページリニューアルの進捗状況について

記：坂本 裕一郎

令和三年度第二回理事会

令和三年七月七日(水) 於 福井県立武道館 片山会長からの挨拶の後、定款第47条に基づき片山会長を議長に選出、定款第51条に基づき前田監事を議事録署名人に選出し、議事に入りました。

【議題】

- 一、ホームページリニューアルについて
- 上嶋理事、岩本理事、坂本常務理事、西川専務理事が資料により、作成状況および「わたしたちが目指すところ」(ホームページ掲載予定原稿)について説明した後、片山会長、河越副会長、北野副会長から質疑があり、坂本常務理事、上嶋理事、西

川専務理事が回答、引き続き検討することが承認されました。

二、普及部 親子剣道教室等の支援 (案) について

山本常務理事が資料により、各地区剣連主催の「親子体験教室」、「少年剣道指導者対象の体験教室研修会」への講師派遣や用具貸出し等の支援について説明した後、中村理事、塚田理事から質疑があり、山本常務理事、西川専務理事が回答、異議なく承認されました。

三、三重国体試合方法変更に伴う北信越国体試合方法の変更について

【報告事項】

一、対人稽古に関する感染予防ガイドライン改訂について

坂本常務理事が資料により、全剣連のガイドライン改訂を踏まえた本県のガイドラインの改訂内容について報告しました。

二、令和三年度事業計画 (七月七日現在) について

堀江常務理事が資料により、事業計画の中止・延期等の変更について報告しました。以上で議事を終了、閉会。

記：坂本 裕一郎

第68回全日本剣道選手権大会三位入賞の林田匡平選手に記念品贈呈

令和三年六月二十七日(日)

於 福井県立武道館応接室 三月十四日(日)に長野県で開催されました「第68回全日本剣道選手権大会」で、本県代表の林田匡平選手が見事3位に入賞されました。今回の入賞に当たり、林田選手の健闘を称えるため、記念品をお贈りするべく県剣道連盟会員の皆様に寄付の人・企業の皆様からご協力をいただきました。

同日開催された「福井県知事杯第18回福井県剣道選手権大会」で優勝し、今年度も全日本剣道選手権大会への出場を勝ち取った林田選手。「選手権大会での優勝、さらに指導者として後進の育成に一層の努力を重ねたい」と決意の言葉を述べられました。

記：坂本 裕一郎

県剣連ホームページ リニューアルについて

県剣連は公式ホームページのリニューアルを進めています。連盟会員のみなならず、剣道を始めてみたい、プランクがあるけどまた再開したいと考えている方、またお子様に剣道を習わせたいと思っている保護者の方などにも、役に立つ情報を迅速に公開することを目指しています。各地区連盟の情報もアップしますので、情報の提供にご協力をお願いします。

七月十八日(日)、県立武道館で新ホームページ用の動画・静止画を撮影しました。少年剣士から親子剣



道一家、女性剣士、トップアスリート、シニア剣士、居合道剣士など、県内各地区から多数の皆様に出演ご協力をいただきました。十二月公開予定です。

記：上嶋 啓芳

県剣連事業等

【10月】

- ・ 9日(土) 東京武道館 第56回全日本居合道大会
- ・ 15日(金) 県立武道館 県剣連第3回理事会

- ・ 16日(土) 敦賀市中郷体育館 県中学校秋季新人競技大会剣道競技
- ・ 24日(日) エディオンアリーナ大阪 第69回全日本学生剣道優勝大会

- ・ 30日(土) 県立武道館 県立武道館 県中学校秋季強化練習会
- ・ 31日(日) 県立武道館 県実業団剣道大会

【11月】

- ・ 3日(水・祝) 日本武道館 第69回全日本剣道選手権大会
- ・ 6日(土) ~ 7日(日) 若狭町 近県中学生剣道錬成大会
- ・ 7日(日) 江戸川区スポーツセンター(東京都) 居合道六・七段審査会

居合道六・七段審査会

- ・13日(土) 名古屋市枇杷島スポーツセンター 剣道七段審査会
- ・14日(日) 名古屋市枇杷島スポーツセンター 剣道六段審査会
- ・14日(日) 春日井市総合体育館 第40回全日本女子学生剣道優勝大会
- ・13日(土)～14日(日) 県立武道館 県立武道館 兼都道府県 高校男子一次予選会
- ・20日(土) エスフォルタアリーナ八王子(東京都) 剣道六段審査会
- ・23日(火・祝) 県立武道館 剣道 形講習会・段位審査会、木刀講習会
- ・23日(火・祝) 敦賀市総合運動公園体育館 第40回少年剣道錬成敦賀大会
- ・23日(火・祝)～24日(水) 東京武道館 剣道七段審査会
- ・25日(木)～26日(金) 日本武道館 剣道八段審査会
- ・28日(日) 朝日中学校(越前町) 第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会 大会県予選会



- 【12月】
- ・4日(土) 富山市総合体育館 北信越合同稽古会
- ・4日(土) 墨田区総合体育館(東京都) 第69回全日本学生剣道選手権大会
- ・12日(日) 第55回全日本女子学生剣道選手権大会
- ・12日(日) 県立武道館 第12回県少年剣道強化錬成会
- ・26日(日) 和歌山市 第69回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- 【1月】
- ・5日(水)～6日(木) おおきにアリーナ舞洲(大阪市) 第55回全国道場少年剣道大会
- ・9日(日) 県立武道館 県剣連 剣道・居合道初稽古
- ・15日(土) (調整中)敦賀市 県中学校剣道冬季強化大会
- ・23日(日) 県立武道館 県剣道大会(高校)兼冬季高校選手権大会 兼全国高校選抜大会予選会

私たちは「福井県の剣道」を応援しています

《福井県剣道連盟 賛助会員》

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 株マルツホールディングス 様 | 医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様 |
| 株 法 美 社 様 | メディアボックス 株 様 |
| 大 栄 電 設 工 業 株 様 | 千寿会医療福祉グループ 様 |
| 医療法人 相木病院 様 | ノザキモーター 様 |
| 株 アイビックス 様 | いづみ観光バス 株 様 |
| カ ラ ヤ 株 様 | |
| 衆議院議員 稲田朋美 様 | 参議院議員 山谷えり子 様 |
| 高 森 政 義 様 | 岩 崎 貞 夫 様 |
| 鶴 田 裕 一 様 | |

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

- 年会費 個人会員 1口 10,000円
- 公益または公益に準じる事業を目的とする団体 1口 10,000円
- 企業等 1口 30,000円

- 特典 ①当連盟の開催する大会の案内
- ②当連盟のホームページへの掲載
- ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
- ④当連盟の事業に対して意見を述べる
- ⑤剣道だよりへの掲載
- ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 TEL・FAX: 0776-28-6616 e-mail: fkikendo@herd.ocn.ne.jp

みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

福井工業大学剣道部

『福井から日本一』

福井工業大学剣道部 主将 森 勇人

今年度、福井工業大学剣道部は、男子47名・女子8名の55名が、渡邊先生、道内先生、西山先生のご指導のもと、「福井から日本一」を合言葉に活動しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての大会が中止になり、満足に活動できない状況でした。現在も世界中で感染が収まらず、厳しい状況が続いています。感染予防対策を徹底しながら、楽しく、時に厳しく、切磋琢磨しながら日々の稽古に励んでいます。

当剣道部では、まずは社会で通用する人間性を磨くことに重きを置いて活動しています。稽古は、先生方からご指導いただいた事をただ漠然とこなすだけではなく、高い意識を持ち自分達で考え、一人一人が主体的に実践していくことを心がけています。辛く苦しくなった状況があれば、雰囲気良く盛り上がるように全員で声を掛け合うことはもちろん、

個々が組織に貢献できるように創意工夫しながら取り組みます。稽古以外には、学校内や寮周辺の清掃活動を実施し、地域から愛されつつ他のチームに憧れを持たれるようなチーム作りに努めています。

このように当剣道部では、剣道の技術や試合の勝敗だけに拘るのではなく、全日本剣道連盟が謳う剣道理念の「人間形成」、全日本学生剣道連盟が謳う学生剣道の目的を念頭に『文武両道を全うし、広く社会に貢献』することを目標に活動を行っています。

また、大学のクラブ活動は、「交友関係」が大きく広がるものです。当剣道部は全国各地からたくさんの学生が集まります。先輩後輩の絆を超え、剣道部全体がとも仲が良く、先生方も献身的に接してくださいます。現在は新型コロナウイルスの影響で実施できていませんが、夏には部員全員でバーベキューやレクリエーションも多数行っていました。先生方、学生ともに楽しい時間を共有し、絆を深めています。

現在の社会情勢により、私達の生

活も一変し、あらゆる活動に自粛を求められ、制限が多くなりました。大学に通学できず、リモートでの授業が主となり、クラブ活動が中止という我慢を強いられた時期もありました。現在も各地への遠征や大会が実施できない状況です。

しかし、このような状況だからこそ気付けることもたくさんあります。稽古ができること、先生方にご指導いただけること、剣道をさせてくれている両親の存在、何よりどんな状況でも同じ目標に向かって苦楽を共にする仲間がいることの素晴らしさを、身を持って感じることで、今は幸せな気持ち、充実感いっぱいです。

多くの人達への感謝の気持ちを常に心に刻みながら、「福井から日本一」を達成できるように精進していきます。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

令和三年八月八日(日)

於 福井県立武道館

八月九日(日)、県立武道館にて今年度1回目の剣道形講習会・剣道段位審査会を開催した。五月に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による「福井県感染拡大特別警報」の発令により中止し、今回が今年度1回目の実施となった。本年三月開催の形講習会・剣道段位審査会同様に、新型コロナウイルス感染症予防対策として、受審者には入館時の検温、手指の消毒、下足ビニール袋の配付が行われた。午前中の形講習会及び形審査会は、剣道大道場・小道場、柔道大道場・小道場の4か所に分かれて行い、午後から剣道大道場で実技試験が行われた。学科試験も事前に問題が公開され、受付時に提出する形式がとられた。合格者は次の通り。

「初段」 63名

- 土田 瑛 登 (東陽中1年)
- 倉橋 永 遠 (武生三中1年)
- 皆藤 斗 駆 (上庄中1年)
- 若林 圭 (中央中1年)
- 福島 恵 人 (進明中1年)

平口 なつみ (栗野中1年)
 大辻 彩夏 (荻原中1年)
 田中 十愛 (栗野中1年)
 福井 心愛 (松岡中1年)
 村井 勇栞 (栗野中1年)
 泉 輝 (敦賀気比高2年)
 田中 大喜 (陽明中3年)
 北川 巧磨 (朝日中3年)
 坂下 海斗 (永平寺中3年)
 新甚 遼太 (朝日中3年)
 和田 滉生 (武生一中3年)
 清水 颯太 (東陽中3年)
 後藤 敦稀 (開成中3年)
 水尻 幸永 (荻原中3年)
 金子 央心 (至民中3年)
 坂東 翔太 (松岡中3年)
 櫻井 勇大 (武生一中3年)
 福岡 春杜 (足羽一中2年)
 岡河 紘成 (春江中2年)
 藤本 剛士 (武生一中2年)
 久保 滉生 (藤島中2年)
 多田 滉生 (大東中2年)
 村瀬 椋翼 (春江中2年)
 脇本 深空 (坂井中2年)
 五十嵐 大夢 (武生二中2年)
 山口 優人 (至民中2年)
 叶 三志朗 (中央中1年)
 森 碧 (越前中1年)
 橋詰 唯翔 (松岡中1年)
 高橋 元翔 (武生三中1年)
 伊坂 勝央 (丸岡中1年)

堀登真 (鯖江中2年)
 前田 恭吾 (氣比中2年)
 田中 悠真 (鯖江中2年)
 矢田部 暁 (織田中2年)
 松浦 泉実 (武生一中3年)
 谷口 美佳 (福井高2年)
 熊谷 春伽 (武生一中3年)
 田嶋 桃 (三国中3年)
 青山 渚月美 (足羽一中3年)
 加藤 朱莉 (大東中3年)
 飛山 愛梨 (明倫中3年)
 竹澤 知夏 (三国中3年)
 猪坂 麻衣 (藤島中2年)
 田辺 実夢 (三方中2年)
 永森 千乃 (大東中2年)
 松本 優希 (足羽一中2年)
 川端 麻奏 (今庄中2年)
 小林 由奈 (小浜二中2年)
 齊藤 万莉 (三国中2年)
 中村 日保 (今庄中2年)
 齊藤 江里 (三国中2年)
 竹元 和葉 (明倫中2年)
 田中 葵心 (三国中2年)
 小矢 結貴 (小浜二中2年)
 山下 心優 (鯖江中2年)
 佐藤 美桜 (大東中2年)
 藤田 彩乃 (春江中2年)
 西 幸子 (大東中2年)
 南 安音 (栗野中2年)
 藤崎 万葉 (朝日中1年)

【三段】 52名

伊藤 光希 (鯖江中2年)
 真田 静空 (中央中2年)
 藤田 柑那 (栗野中2年)
 中川 勉 (会社員)
 佐々木 海 (会社員)
 湊 心 (福井高2年)
 古川 琥珀 (敦賀気比高2年)
 塩田 都也 (鯖江高2年)
 中嶋 玲志 (啓新高2年)
 大島 怜音 (福井高1年)
 谷口 智礼 (武生高1年)
 竹澤 智貴 (福井高1年)
 米納 大稀 (啓新高1年)
 田中 晴己 (小浜中3年)
 梅田 雄飛 (明倫中3年)
 山下 慶也 (武生六中3年)
 丸谷 亮仁 (栗野中3年)
 石黒 虎愛 (荻原中3年)
 江戸 一誠 (三方中3年)
 齊藤 真刃 (明道中3年)
 江戸 陽琉 (三方中3年)
 森田 敬弘 (松陵中3年)
 新道 琉雅 (金津中3年)
 松井 悠音 (松岡中3年)
 塚本 郁人 (武生一中3年)
 阪井 芯太郎 (森田中3年)
 大西 諒太郎 (武生六中3年)
 石川 貴大 (南越中3年)
 尾崎 凌大 (森田中3年)
 寺川 大城 (氣比中3年)
 和田 憲知 (武生一中2年)
 川岸 哉仁 (坂井中2年)

【参段】 18名

三田村 凌太郎 (筑波大1年)
 水上 和真 (敦賀気比高3年)
 江戸 稜哉 (美方高3年)
 酒井 翔太 (敦賀気比高3年)
 中村 圭輔 (敦賀気比高3年)
 山下 慶士 (敦賀気比高3年)
 巖川 幸輝 (福井高3年)
 柳山 幸佑 (敦賀気比高3年)
 西山 快成 (高志高2年)
 相馬 成仁 (丸岡高2年)
 山本 峻 (敦賀気比高2年)
 松田 智樹 (敦賀高2年)
 奥平 真央 (丸岡高2年)
 田中 悟史 (丸岡高2年)
 佐藤 千真 (敦賀気比高2年)
 Isarici CRUZCRUZ (福井大学)
 出藏 琴音 (福井商高2年)
 大道 そのは (啓新高1年)
 梅津 美玖 (福井商高1年)
 赤澤 琴葉 (敦賀気比高1年)
 徳本 仁菜 (福井商高1年)
 佐々木 友愛 (敦賀気比高1年)
 宮本 真菜 (大東中3年)
 水波 亜瑚 (金津中3年)
 谷口 胡子 (大東中3年)
 北川 凛 (松岡中3年)
 平松 佳菜 (中央中3年)
 石井 里青 (勝山北部中3年)
 吉村 悠里 (坂井中2年)
 奥田 心優 (松陵中2年)

井上 楓 (丸岡高2年)
 大味 奈夕夏 (金津高2年)
 宮本 沙彩 (北陸高2年)
 東舞 優 (丸岡高3年)

【四段】 2名

脇本 康誠 (自営業)
 宮本 政和 (公務員)

【五段】 3名

畑手 康伸 (公務員)
 坂口 一成 (教員)
 寺木 亮人 (公務員)

剣道六段以上合格者

剣道七段 坂本 裕一郎 (福井地区)
 令和三年八月二十一日(土)

新潟県立武道館(謙信公武道館)

剣道六段 三井 清喜 (福井地区)

白崎 文崇 (福井地区)
 令和三年八月二十二日(日)
 新潟県立武道館(謙信公武道館)

女性剣士の部屋

ペンリレー

鯖江市 吉長 綾香

私が剣道を始めたきっかけは、三つ上の姉の影響でした。小学1年生の私は、姉がしたいことは私もしたい、という時期でした。姉と一緒に家から近かった吉川スポーツ少年団に入り、剣道人生がスタートしました。

小学1年から、大学4年まで剣道を続けてきましたが、今でも忘れられないのは、大学進学の際に吉川スポーツ少年団の恩師に言われた一言です。「どんな道に行ったとしても、応援してよ」という言葉は、当時、剣道をしていない進路に行くことに対して躊躇していた私にとって、とても温かい言葉でした。私にとって、吉川スポーツ少年団は、元気をもらえる場所です。子どもたちの頑張っている姿や、自分がかっこいい頑張ってきたことを思い出すと、悩みも全部吹っ飛びます。感謝でいっぱいです。

結果、大学では剣道と勉学を両立しながら充実した大学生活を送ることができました。外国語大学に在籍していたため、アメリカの留学生が「剣道したい！教えて！」と言ってやる気満々な姿を見ると、こちらまで嬉しくなったのを覚えています。そして卒業後は、アメリカやハンガリーに留学し、剣道

を通して仲良くなった友人もいました。また、ジャパンクラブに入っていたため、剣道を紹介する機会もありましたし、実際に剣道の試合を見せたりもしました。何が何だかわからないけど、剣道ってすごい！カッコいい！というアメリカ人の生徒のキラキラした目は今でも印象に残っています。将来もし海外で働くことがあれば、剣道部を作って、広めていきたいです。

現在は、教員になるため日本で就職活動中です。時間がある時は、吉川スポーツ少年団に行くのが日課になっていますが、最近はコロナウイルスの関係で行くことができていません。しかし、こういう時期だからこそ吉川スポーツ少年団や剣道の大切さを改めて感じている機会だと思っています。今出ていることが当たり前と思わず、感謝する気持ちを忘れないようにしたいです。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616